

# 相澤病院

〈災害医療関係指定状況〉

→ DMAT 指定病院 2006年4月1日

→ 地域災害拠点病院 2020年3月25日

## 地域災害拠点病院として



長野県中信地域の救急救命医療から災害医療の拠点の要として、24時間365日受入体制や医療救護活動が迅速に行えるよう、日頃より準備を進めています。

### 【相澤病院屋上ヘリポート完備】

長野県中信地域の住民の迅速な救命救急対応とアルプス連峰を抱える岳都まつもとに位置するヘリポートとして、県内外や海外から夏山・冬山に訪れる皆さんの医療の要となっています。



県警やまびこ1号



県警やまびこ2号



信州ドクターヘリ松本11



県防災ヘリアルプス12

県外防災ヘリも  
応援により飛来する



岐阜防災ヘリ若鮎1



山梨防災ヘリあかふじ



静岡防災ヘリオレンジアロー

**【非常用電源/燃料/医ガス】**

自家発電装置 (コージェネレーション)



非常用発電機 (4台)



蓄電装置(無停電電源装置)



地下貯蔵タンク (5万ℓ)



医療ガス設備(酸素)



**【上下水】**

受水槽 (耐震)



高架水槽 (耐震)



井水濾過装置



**【通信設備】**

固定衛星電話→ 2回線

衛星携帯電話→ 対策本部1台、DMAT用2台

業務用無線→ DMAT用、消防無線、松本市地域防災無線

### 【モバイルER&ドクターカー】



モバイルERは災害現場でのDMAT活動や平時は当院からの中等症・重症患者様の病院間搬送を看護師、病院救急救命士が同乗し対応しています。

ドクターカーは救急医、看護師、病院救急救命士が同乗し、消防又は病院からの収容要請直後に出動し現場や救急隊搬送中の傷病者を引継ぎ治療搬送するランデブ

ー搬送を行っています。その他より高度の医療機関への転院搬送や当院への救急搬送に使用しています。

### 【マニュアル整備及びBCP】

あらゆる災害に対応するため以下のマニュアルを策定し、訓練と検証を行い改善を行っています。「相澤病院事業継続計画（BCP）、災害時対応規程（集団災害編）、相澤病院避難確保計画（水害編）、特殊災害（CBRNE）対応手順、放射線被ばく対応手順、新型インフルエンザ等発生時における医療継続計画、火災発生時の現場対応手順」

### 【災害時協定の締結】

- ・災害時における石油類燃料の供給等に関する協定（信光石油（株）、（株）ヤマサ）
- ・大規模災害時医療材料の優先供給協定（中日本メディカルリンク（株）、（株）上條器械店、（株）中央メディカル）
- ・大規模災害時診断薬及び検査消耗品の優先供給協定（アズサイエンス（株））
- ・大規模災害時医薬品の優先供給協定（岡野薬品（株））
- ・大規模災害時患者食用食料品の優先供給協定（（株）ヨネクボ）

### 【災害用備蓄】

食糧： 入院患者用 460人×3日～5日分、職員用 900人×3食×3日分

水： ペットボトル2ℓ×3,600本

医薬品： 入院患者用 3日分をランニング  
ストック

他： 毛布、おむつ、粉ミルク、簡易  
トイレ、袋式トイレ



## 【訓練、研修会】

大規模地震災害や集団災害(事故等)に備えて、地域や行政と連携した訓練を年1回実施し規程等の検証と改善を行っています。

火災に備えて、部署単位で病院職員・委託職員が年1回必ず参加の訓練及び病院全体訓練を年1回実施し手順等の検証と改善を行っています。

化学物資・生物・放射性物質・核・爆発物などの特殊災害(CBRNE)訓練の実施と検証を必要に応じて実施しています。

## 【DMAT(災害派遣医療チーム) / (医療救護班)】

災害派遣、イベント救護班、訓練、研修会など



### - 2020.10 台風19号災害による施設からの患者避難 -

- 2004.10.26 新潟中越地震(救護班を編成)
- 2007. 3.26 能登半島沖地震
- 2007. 7.16 新潟中越沖地震
- 2010.11.11 横浜APEC(NBCテロ対策)
- 2011. 3.11 東日本大震災
- 2011. 4. 3 東日本大震災 長野県医療救護班
- 2011. 8.17 東京電力福島第一原発
- 2012. 2.28 東京電力福島第一原発 医務室救護
- 2014. 9.27 御嶽山噴火災害
- 2014.11.22 神城断層地震
- 2015. 7.29/8.1 御嶽山噴火災害捜索活動 医療救護
- 2020.10.13 台風19号災害による千曲川の氾濫